



先日12日（水）に合唱発表会が開かれました。合唱曲が7月に決まってから、長い期間をかけて、学級・学年・全校合唱曲を創り上げてきました。

3学年のトップを飾った、学年合唱「地球星歌」。入学式の時に、2・3年生の先輩が皆さんのために歌ってくれた曲です。先輩の歌声に追いつけるよう磨きをかけ、心KOKORO学年の持ち味である素直でまっすぐな思いに、ソプラノ・アルトの落ち着いたきれいな響きとテノールの迫力がある声が重なったすばらしい歌声を体育館中に響かせ、歌い切ることができました。

また、学級合唱では、それぞれの学級の今の姿を合唱曲に乗せて表現することができました。一体感、美しいハーモニー、迫力ある声量など、各クラスそれぞれの持ち味を発揮して、学年の仲間や保護者の方、そして先輩たちに披露することができました。

学年合唱や全ての学級の合唱を聴いて、胸がいっぱいになりました。きっと、多くの人たちの心に感動が届いたことと思います。

夏休み前から続いた長い取組が一区切りとなります。当日までの取組や本番の合唱を通して、皆さんは何を感じ取ったのでしょうか。また、合唱曲を創り上げる経験を通して、心を育てることができたのでしょうか。周りの仲間と繋がり、信じることができ、本気で表現し、感動することはできたのでしょうか。

「結果」という言葉について、次の文章を紹介します。

我々は「結果」とどう向き合えばいいのか。（中略）「結果は自信をつけるもの」とだけとらえればいいのだ。これこそ真理だ。結果の積み重ねによって、人は自信をもつ。その自信を過信せずに重ねていけば間違いなく成長できる。

要は「結果」は自分がコントロールすることができない、後からついてくるもの、と割り切る覚悟が必要なのだ。「未来」の事象だから、それについてあれこれ考えてもしょうがない。

そこでおのずと大事になってくるのは、その結果に至るまでの「プロセス」ということになる。簡単に言うと「今できることを正しくやる」ということだ。「結果だけを追い求める」のと「努力の先に相応の結果がついてくる」と意識をもつのでは、その「結果」（たとえどういう結果になろうと）の後に自分の中に残るものが違ってくる。

「弱者の流儀 野村克也31の教え」野村克也 ポプラ社より参照

各クラス、当日までの「プロセス」を大事にしてきました。途中立ち止まったり、歩みがゆっくりだったりしたときがあったとしても、最終的に「今できることを正しくやる」ことができたならば、それはとても素晴らしいことで、今後につながります。この経験をぜひ、これからの学級、学年、学校の成長へとつなげてほしいと思います。

合唱発表会は一つの区切りです。ここから1年生のゴールに向かって進み、次の学年へのステップを踏み出します。今回の合唱発表会は、皆さんが大きく飛躍する大きな一歩となったと思います。自分と周りにいる人を大切にできる、さらに心豊かな学年に成長させていきましょう！



今後の主な予定

- 11月18日(火) 5短 三者懇談
- 19日(水) 5短 ①～④月1～4 三者懇談
- 20日(木) 5短 ③木4④木5 三者懇談
- 21日(金) あいち県民の日
- 25日(火) テスト週間開始 PTA 挨拶運動(～12月1日(月))
- 26日(水) 生徒議会(ST 後)
- 27日(木) 5短



保護者の皆様へ 日頃は学校・学年の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

お忙しい中、合唱発表会を鑑賞いただきありがとうございました。お子様たちは、心を込めて全力で歌い切りました。これまで時間をかけて取り組んできた成果を感じ取っていただけたら幸いです。次は、入学説明会で、来年度入学する小学校6年生に学年の歌声を届けます。これからも、合唱を通して、心を育てていきたいと思います。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。